

平成 25 年度

テニユアトラック普及・定着事業  
「B. 個人選抜型」

機関名： x x 大学

推薦者数： x x 名

推薦書類様式

(様式1)

機関名： XXX大学

被推薦者名簿

被推薦者 氏名	機関選抜型 における 選定部局	機関選抜型 選定年度	テニユアトラック教員任期中		テニユアポスト(予定)		研究分野 細目 番号(注)	テニユアトラック教員 採用・着任年月日(予定)
			所属	職名	所属	職名		
〇〇 〇〇 旧姓使用可			A 研究科 B 専 攻	テニユアトラ ック助教 ※大学独自の 呼称があれば 記載してくだ さい。	A 研究科 B 専攻	准教授		平成 年 月 日採用(予定) 平成 年 月 日着任(予定)

(注) 平成 25 年度科学研究費助成事業の細目番号を記載してください。

※イタリックは印刷不要です。申請時には削除してください。記入欄が不足した場合は、適宜追加してください。

(申請機関名：〇〇〇機関)

(様式2)

被推薦者の経歴

(ローマ字) (フリガナ) 氏名	(旧姓使用可)		性別	
国籍				
系(注)		分野(注)		
分科(注)		細目番号(注)		
生年月日	年 月 日生 (平成25年4月1日現在 歳)			
テニュアトラック教員の所属 (予定)	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻(予定)			
テニュアトラック教員採用・着 任年月日(予定)	平成 年 月 日採用(予定)	平成 年 月 日着任(予定)	テニュアトラ ック教員の職 名	
テニュア獲得後 の所属(予定)	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 (予定)		テニュアポス トの職名	
学歴 (大学入学以降)	1. 平成 年 月 大学 学部 学科卒業 2. 平成 年 月 大学大学院 修士課程修了 3. 平成 年 月 大学大学院 博士課程修了			
学位(取得年月 日及び大学等)	平成 年 月 日 博士(〇〇) 〇〇大学大学院〇〇研究科			
研究・ 職歴等	1. 平成 年 月 ~ 平成 年 月 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇研究員			

(申請機関名: 〇〇〇機関)

所属学協会 と活動	
--------------	--

(注) 平成 25 年度科学研究費助成事業の系・分野・分科・細目番号を記載してください。

※ イタリックは印刷不要です。申請時には削除してください。

(様式3)

推薦理由書 (機関の長)

被推薦者名 : \_\_\_\_\_

※被推薦者ごとに1部作成ください。

被推薦者の研究内容、研究業績や将来性に対する評価を含んだ推薦理由書を機関の長が記載ください。

【A4判2頁以内】

必要に応じて関連文献を引用し、平易かつ具体的に記述してください。

1. 推薦理由

(①研究業績、②今後の研究分野の内容とその国内外における位置付け、③機関が期待するものについては必ず記載してください)

(※なお、研究業績や能力等に関するメンター等からの推薦書 (A4版2枚以内/1通) (英文可) を2通以内別途添付可とします)

2. 所属する部局等における育成方針とその方策

(申請機関名 : ○○○機関)

本事業において博士研究員を雇用しないことが確約されている場合以外は、具体的な「キャリア支援の活動計画」を作成し、提出してください。

(※機関選抜型の申請の際に既に提出済みの機関についても、改めて記載願います。)

**【A4判1頁以内】**

3. テニユアトラック教員の研究支援のために若手の博士研究員(※)の雇用を予定している場合は、機関選抜型の公募要領7頁「(10) テニユアトラック教員の研究支援のために雇用する若手の博士研究員に対するキャリア支援」に基づき、当該若手の博士研究員の任期終了後のキャリアパス確保に向けたキャリア支援活動計画についてその概要を機関として必ず記載してください。

※若手の博士研究員を雇用しないことが確約されている場合は「若手の博士研究員の雇用はなし」と記載してください。

※本事業において、若手の博士研究員とは、以下の(a)(b)に該当する者をいいます。

- (a) 本事業において、テニユアトラック教員の研究支援のために、本事業費を財源として雇用する者
- (b) 大学や企業等における安定的な職に就くまでの任期付きの研究職にある者で、40歳未満の博士号取得者(博士課程に標準年限以上在学し、所定の単位を取得の上退学した者(いわゆる満期退学者)を含む。)

(申請機関名：○○○機関)



(様式5)

## 研究業績

被推薦者名 : \_\_\_\_\_

※被推薦者ごとに1部作成ください。※被推薦者自身が記載してください。

被推薦者のこれまでの研究内容と業績について、業績リストから代表的なものについてリスト番号を適宜引用し、簡潔に記述してください。必要に応じて図表を用いても構いませんが、審査は白黒コピーにより行うのでそれに耐えられるものを使用してください。(テニュアトラック教員として採用された時の提出書類を本様式として添附することは可能ですが、下記の頁数を超す場合は必要に応じて要約してください)。

**【A4判3頁以内(業績リストは別紙とし左記頁数には含めない)】**

(申請機関名 : ○○○機関)



【別紙：業績リスト】

<記載内容について>

各事項について年代の新しい順から通し番号をつけて全件記載。

(各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可)

1) ・原著論文 (著者 (被推薦者にアンダーライン)、題、掲載誌、巻、年、頁 (始—終) あるいは論文番号 (頁数) 外部引用数)、査読の有無 (査読中、投稿中は除く))

(著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略しても可 (省略する場合、その員数と、記載されている順番を○番目と記入) なお、被推薦者には下線を付すこと)

・著書 (著者 (被推薦者にアンダーライン)、題、出版社、年、頁 (始—終)、

2) 知的財産権取得状況：特許 (含む申請中) 等

3) 受賞等

4) 外部資金獲得状況－1 (科学研究費助成事業 (代表者に限る)) \*

5) 外部資金獲得状況－2 (科学研究費助成事業以外 (代表者に限る)) \*

(\* 外国からの応募者等この分類に該当しない場合は、外部資金獲得状況としその全件 (代表者に限る))

6) 学生等の教育の実績

7) 特記事項 (該当する場合)

(様式6-1)

所要経費の見込額 (機関全体)

1. 機関全体における補助金見込額

※機関本部にて作成してください。

※被推薦者が複数名いる場合はその合計額を記載してください。

(様式6-2が複数枚ある場合は、その合計となります。)

(円)

年 度	25年度 (1年度目)	26年度 (2年度目)	27年度 (3年度目)	28年度 (4年度目)	29年度 (5年度目)	合計金額
補助金額						
設備備品費						
人件費						
事業実施費						

(申請機関名: ○○○機関)

(様式6-2)

所要経費の見込額 (テニュアトラック教員)

被推薦者名: \_\_\_\_\_

※被推薦者が複数名いる場合は、1人につき、1部作成してください。

※テニュアトラック教員と調整して、機関本部にてとりまとめの上記載してください。

1. 補助金額 (全体計画)

(円)

年度	25年度 (1年度目)	26年度 (2年度目)	27年度 (3年度目)	28年度 (4年度目)	29年度 (5年度目)	合計金額
補助金額						
設備備品費						
人件費						
事業実施費						

2. 平成25年度所要額の内訳

個人選抜テニュアトラック教員に係る研究費及び人件費

経費の内容	金額 (円)	積算内訳 (円) ※記入例
設備備品費		記入例 〇〇システム一式 〇円 〇〇分析装置 〇円
人件費		記入例 ・テニュアトラック教員 (本人) の人件費 〇円×〇月=〇円 ・若手の博士研究員人件費 〇人×〇円×〇月=〇円 ・非常勤職員人件費 〇人×〇円×〇月=〇円
事業実施費 (消耗品費) (国内旅費) (外国旅費) (外国人等招へい旅費) (諸謝金) (会議費) (通信運搬費) (印刷製本費) (借損料) (雑役務費) (光熱水費)		記入例 〈消耗品費〉 消耗品一式 〇円 〈国内旅費〉 〇〇学会 〇人×〇円 (〇〇県) =〇円 若手の博士研究員のインターンシップ参加旅費 〇人×〇円×ヶ月=〇円 〈外国旅費〉 〇〇国際学会 〇人×〇円 (〇〇国) =〇円 〈外国人等招へい旅費〉 共同研究打ち合わせ 〇人×〇円 (〇〇国) =〇円 〈諸謝金〉 RA経費 〇人×〇円=〇円 ※博士課程(後期)学生をRAとして雇用する場合には、労働時間に見合った適切な対価設定としてください。 〈会議費〉 研究打ち合わせ 飲食物等 〇人×〇円=〇円 ※会議で供給する飲食物等は、各機関の規程等に従い必要最低限のものとする。ただし、アルコール類については、補助金からは支出できません。 〈通信運搬費〉 宅配便代 〇円×〇件=〇円 〈印刷製本費〉 論文別刷 〇円×〇部=〇円 〈借損料〉 コンピューター借料 〇円×〇台=〇円 〈雑役務費〉 〇〇データ分析委託一式 〇円 〈光熱水費〉 電気料金 〇ヶ月×〇円=〇円
合計金額		

※ イタリックは印刷不要です。申請時には削除してください。

(申請機関名: 〇〇〇機関)